令和7年度第2回上下水道事業審議会 議事概要

1 日時及び場所

令和7年6月23日（月） 午前9：30～11：14
知立市役所 3階 第2・3会議室

2 出席者及び欠席者

- (1) 出席者（9名）
- (2) 欠席者（1名）
- (3) 事務局（11名）

3 議題及び内容

- 1 市長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 諮問
- 4 議題
部長あいさつ
 - (1) 【水道事業】水道料金の改定について
 - (2) 【下水道事業】知立市下水道事業経営戦略の中間見直しについて
- 5 その他
次回の審議会開催予定について
報酬の支払いについて

4 議事概要

議題

- (1) 【水道事業】「水道料金の改定について」説明後、質疑応答

5 主な意見、質疑応答

議題

- (1) 【水道事業】水道料金の改定について

【会長】

意見、不明点等、ご質問をお願いします。

【事務局】

パターン②については、料金算定に準じてはいるが、50mmと75mmの大型店舗が減額になるのはいかがでしょうかと事務局でも意見があり、17ページの絵を見ていただくと判断のポイン

トになると思います。

【委員】

日本水道協会の料金算定要領の算定方法を簡単に教えていただきたい。

【事務局】

維持管理費、薬品費、委託費、工事費等を表に当てはめていくと計算されるもの。今までの知立市は、基本料金と従量料金が3対7でしたが、1対1でもらっておかないといけなかったというのが②であった。計算方法は一律であるが、地域性があるものになります。

参考にしているのは県内でもあまりいない。現状の3対7の根拠は調べられないが、当時他市を参考に作ったのではないかと思われます。パターン②を是正した③と④は審議をお願いしたい。

【委員】

料金改定が決まった後、市民にデータは公表されますか。

【事務局】

基本的には考えていない。決まったものだけ公表します。口径別に変えたり等数字的には変わってくるので今回はパターンの方向性の審議をお願いしたい。

【委員】

目標としている収入はどれも同じと説明がありました。ということは、手法の選択、利用者側に立ってのイメージをパターンで選択するということですね。

【事務局】

知立の皆様の風土にはどのパターンが合っているか、ご納得いただけるかとお考えいただきたい。

【委員】

パターン①のように一律に15%は単純に一番わかりやすい。20ページの表で増加率の高低は少ない方がいいと思うので、③④は考慮できるが、②は最も高いので外れてきますよね。

【委員】

平均改定率15%は公表しますよね。そうすると、①以外の場合の一般市民的には15%以上になってくるので受け入れられにくいのではないのでしょうか。

【事務局】

平均改定率の解釈は、給水収益を15%上げるものと考えています。

【委員】

一般市民では、そんな複雑に考えてなく理解できないと思う。受入れられないのではないのでしょうか。

【会長】

件数的にも13mmが14万件で口径が小さい方が圧倒的に多いので、15%より上がったと感じる方が多いでしょう。

【委員】

今の人口で試算したのですよね。人口かそんなに変わらないと思うが、人口減を考慮に入れないといけないのでしょうか。そうであれば、基本料金を高くして安定収入としていきたい。

【事務局】

知立市の特徴として、ありがたいことに人口は微増していますが、1世帯当たりの人数は少しずつ減少しています。生活様式も代わってきていて水をペットボトルで購入していたり、節水機器が普及しているのでも、基本料金と従量料金を見合うように変えていかないといいないと思っています。例えば、従量料金をたくさん払っても件数が減ってくれば収入は減ってしまうので基本料金で考えます。

【委員】

難しいですね。一番件数の多い13mmで単純にパターン①で見るとどうでしょうか。

【事務局】

16ページパターン①を見ると増加率は一律で15%、増加額も1世帯241円ですね。

【委員】

イメージ的には一番受け入れやすいのではないのでしょうか。

あとみても、基本料金も15%上がっていて割合的な構成もそのままですね。

【事務局】

料金算定でいうと1対1ですが、もう少し高くないと見合っていないのではないのでしょうか。

【委員】

基本料金のことを考えて1番件数の多い13mmを基準に換算していったら、その次に率が少ないのはパターン④ですね。②が一番高い。

【事務局】

後は小口径にやさしいか、大口径にやさしいか。

【委員】

人数からすれば勢力は大口径の方がいろんな面で強いが、小口径の件数が多いので人数が多い方を優先に考えた方がいいのではないのでしょうか。

【事務局】

13mm、20mmの基本料金を大幅に上げたほうが安定的に収入は上がりますが、みなさんの生活に直結しているのでバランスを見ていきたいです。

【委員】

今回は15%上げるんですが、その後34%に上がるのですよね。そうなるとその時も同じように考えるのですよね。そうするともっと差が開いていきます。そこもふまえて検討していかないといいませんね。

【会長】

増加率を口径によって変えない方がいいですね。

【事務局】

それをしてしまうと説明が難しくなってしまいますね。

【委員】

15%ですよ。これからまだ上がっていくので。

【委員】

市民はできるだけ家庭用の小口径と大口径との差が少ない方が納得はされやすいのではないのでしょうか。①か④に近い方がいいと思います。

【会長】

今日の採決でパターンを決めてしまうわけではないですね。

【事務局】

パターンを決めてしまうとこれ以上何もできないので、方向性のみ決めていただきたい。

【委員】

方向性的には基本料金を上げていくということであれば①はありですね。

【事務局】

基本料金を上げないということはないと思っています。

【委員】

①と④で上がり方はさほど差はないと思います。何かメスを入れておけば調整でき考える幅が広がるかなと思います。

【事務局】

パターン①に決まってしまうと広がりがなくなってしまうので少し考慮いただきたい。

【委員】

バランスを考えると少しメスを入れることができるよう余裕があった方が考えやすいということなんですね。

今、組長をしているのですが、世帯の人数が減ってきているのは、実感しています。

【委員】

パターン④は任意の5%増加の表ですが、20ページの表が5%を変えることによって折れ線グラフの角度が変わってくるかもしれないですかね。

【事務局】

そうですね。今後その角度をどのくらいにしますかという話になってきます。

【事務局】

採決を取るとパターン①が多くなると思いますが、それは前提でもう一つ選んで2つとする方法はいかがでしょうか。

【会長】

まず、最初に①から④の内どれがいいか決めて、その後②から④でもう一回決めて2の案に絞るという方法で採決を取ります。

ではパターン①がいいと思われる方 5人
パターン②がいいと思われる方 なし
パターン③がいいと思われる方 なし
パターン④がいいと思われる方 3人
では、①以外の②から④で選ぶのであれば、皆さん④ですね。

【事務局】

ありがとうございます。

【委員】

②～④を案として上げた意図は何でしょうか。

【事務局】

全国的に水道事業を指導している協会では日本水道協会というところの料金算定要領に基づきだということで案を計算しました。

【委員】

強制はないのですか。

【事務局】

強制はないです。しかし、県内でも参考にしているところも少ないのであまり参考にならないですね。ただ、今後料金改定時に料金算定要領に基づいているということであればそれで終わるという利点があります。

【会長】

大口使用者に有利になっていると見えてしまうがいかがでしょうか。

【事務局】

言い方を変えると料金算定要領から見ると大口使用者にもらいすぎていたととれます。

【会長】

ではパターン①と④の方向性ということは、次回どう進んでいきますか。

【事務局】

①については、いじりようがないのでそのまま残していきますが、④については5%で本当にいいのか詰めていきます。

【委員】

5%は3%にするとか2%にするとか余裕があるということですよ。

【事務局】

今、意見があれば次回に調整を考えます。

【委員】

5%というのは、同じ目標額になるように作ったものですよ。

【事務局】

5%より下げると基本料金が上がりますね。そうなってくると結果は一緒になってきませんか。

【会長】

従量の5%を2%に下げると、折れ線グラフが平坦になり基本料金が上がるということですね。

【委員】

平坦に上げていくと将来的には人口減になるので、その時の上げる率は激しくなってくるので将来の人は大変になってしまいますね。

【事務局】

パターン④の利点として①より④の方が基本料金が高いので、人口減少については耐えやすいですね。

【委員】

従量と基本料金の差を何か考えられますか。

【委員】

この15%はどこから出てきましたか。

【事務局】

最終目標は34%だったが、1度に上げるのは負担が大きいということで、2段階で上げることとし、それに合わせて令和10年度に浄水場の廃止時にも著しくお金がかかるということもありそれを解消するために15%としています。

【会長】

それでは、水道料金の改定については、パターン①と④を検討することとします。

【事務局】

①についてはそのまま④については根拠を詳細に作っていきます。

【委員】

試算で使っている件数はどのように解したらよいですか。

【事務局】

検針の件数ですので2か月に1回検針なので6で割ります。短期で出たり入ったりがあるのでぴったりにはなりません。

①④をもんだ資料を作成したもので次回ご審議いただき、審議会後に、議会にあげる前の市役所内の最終の庁議にかける最終案を決定することになりますのでよろしくお願いいたします。

(2)【下水道事業】知立市下水道事業経営戦略の中間見直しについて

【会長】

意見、不明点等、ご質問をお願いします。

【委員】

アパートやマンションが下水道へ接続すれば、下水道普及率は上昇するのですか。

【事務局】

下水道普及率については、供用開始した地区の人口で算出するため、接続の有無は影響しません。ただ、供用開始地区の中で下水道へ接続している人の割合を示す水洗化率の上昇にはつながります。水洗化率の上昇は、下水道使用料の増加に直結しますので、今後も下水道への接続勧奨を積極的に行っていきます。

【委員】

下水道の工事地区・供用開始地区はすぐにわかるようになっていますか。

【事務局】

下水道課ホームページで工事予定図及び供用開始区域図を公表しています。今後の工事予定地区や供用開始地区が色付けされておりますので、ぜひご覧ください。

【委員】

下水道普及率が100%になるのはいつ頃ですか、100%になるのでしょうか。

【事務局】

調整区域等の下水道を整備しない地区があるため、100%になることは難しいです。そのため、下水道だけでなく合併浄化槽を利用して汚水処理を促進していきます。

【委員】

下水道の整備地区の広げ方には何か決まりがあるのですか。

【事務局】

最終的には全体計画区域全域を整備する予定ですが、工事費用が比較的安い地区を早く整備し、受益者負担金や接続者が増えることによる使用料の早期確保につなげたいと考えています。

【委員】

文章の表現の仕方について気になったことがあります。一つ目は、9ページの上から3行目を「引き続き努めていきます」とする方が良いのではないのでしょうか。二つ目は、第3章のコメントの欄をです・ます調にした方が柔らかな表現になると思います。三つ目は、投資・財政計画の2025年度企業債が他の年度と比べて額が大きくなっているため、何かコメントを付けた方が伝わりやすいと思います。

【事務局】

修正点のご指摘ありがとうございます。修正を検討させていただきます。

【委員】

接続補助金が20万円ありますが、この20万円は工事費の何割にあたるのですか。

【事務局】

家の状況によって工事費用に差が出るため一概には言えませんが、工事費の半分から3分の1程度が平均的です。

【委員】

今後、補助金額が工事費用の何割のように変わっていきますか。

【事務局】

工事店によって工事費用が変わってしまうので、工事費用の何割という方式は難しいです。